

社会 <解答と解説>

解答


配点

イ) 5点
 その他各 3点 × 5 = 15点
 ア) ii) 完答
 計 20点
 イ) 2点, (オ) 4点
 その他各 3点 × 5 = 15点
 計 21点
 各 3点 × 7 = 21点
 各 3点 × 7 = 21点
 キ) i) 完答
 イ) 3点, (ニ) 6点
 その他各 4点 × 2 = 8
 計 17点
 合計 100点

問1 世界地理

- (ア) i) 正距方位図法では、地図の中心からの距離と方位は正しく示されますが、中心以外の地点から中心に向けての距離と方位は正しく示されません。また、略地図中の東京を中心に等距離を結んだ線Mとの位置関係から、Pが東京から見て最も遠くに位置していることがわかります。
- (ii) 地図の中心である東京から見て、東の方角に位置するのは南アメリカ大陸であり、そのまま通過していくと、アフリカ大陸、ユーラシア大陸を経て、東京に戻ります。また、赤道は、マレー半島の南端（シンガポール）付近を通ります。
- (イ) a…都市アを首都とする国（ブラジル）の0～14歳の人口は2億1,105万 × 0.21 = 4,432.05万なので約4,432万人、都市イを首都とする国（アメリカ合衆国）の65歳以上の人口は3億2,907万 × 0.162 = 5,330.934万なので約5,331万人です。b…都市イを首都とする国の総人口は3億2,907万人、世界全体の0～14歳の人口は77億1,347万人の25.6%であり、約19億7,465万人なので、約6分の1にあたります。c… $117,888 \div 348,712 \times 100 = 33.8\cdots$ （%）なので、約25%ではありません。d…都市ウを首都とする国の日本への輸出総額は585,500百万円で、そのうち機械類の輸出額は60,639百万円なので、 $60,639 \div 585,500 \times 100 = 10.35\cdots$ （%）で約10%といえます。e…帯グラフは、全体に占める各項目の割合を示すのに適しています。f…円グラフは、各項目の割合を示すのに適しています。
- (ウ) i) 都市ウはインドの首都、都市カはニュージーランドの首都を示しています。インドは、アメリカ合衆国を除けば、地理的に近いアジア諸国との貿易額が大きな割合を占めています。また、ニュージーランドは、イギリスの植民地とされていた歴史をもつため、かつてはイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国との貿易がさかんでしたが、近年は、中国や日本などアジア諸国との貿易額が大きな割合を占めるようになっていきます。
- (ii) 都市エは、サウジアラビアの首都です。サウジアラビアは乾燥帯（砂漠気候）に属し、国土のほとんどが砂漠で占められています。なお、ヒンドゥー教は、インドの国民の約80%が信仰している宗教です。
- (iii) 都市オは、南アフリカ共和国の首都です。なお、2はオーストラリア、3はアメリカ合衆国、4はブラジルについての説明です。

問2 日本地理

- (ア) i) 市役所の地図記号は◎です。
- (ii) 2万5千分の1の地形図上における6cmの実際の距離は、 $6 \times 25,000 = 150,000$ (cm) = 1,500 (m) です。
- (iii) 松本城と松本（まつもと）駅の位置関係から、観光マップでは地形図の東の方角が上になっていることが読み取れます。アは、旧開智学校との位置関係から、高橋家住宅とわかります。また、イは、松本（まつもと）駅との位置関係から、中町・蔵シツク館とわかります。なお、地形図の中央公民館近くのが松本市時計博物館です。

- (イ) 扇状地は、川が山地から出るところに形成されますが、その辺りでは、傾斜が急に緩やかになるため、つぶの大きな土砂がつもりやすく、水はけのよい、果樹栽培に適した土地ができます。
- (ウ) 中部地方は、日本海に面した北陸地方、太平洋に面した東海地方、内陸部の中央高地に分けられます。Wの新潟市とXの金沢市は北陸地方、Yの浜松市は東海地方です。中央高地は、周囲を山地に囲まれているため季節風の影響を受けにくく、降水量が少ないのが特徴です。なお、aは、冬の降水量が多いことから、冬に北西季節風の影響を受ける北陸地方の都市のものとわかります。
- (エ) 表から、1960年の3分野合計の就業者数に対する第二次産業就業者の割合は、 $12,804 \div (14,389 + 12,804 + 16,841) \approx 0.291$ (約29.1%)であるのに対し、2015年は、 $13,921 \div (2,222 + 13,921 + 39,615) \approx 0.250$ (約25.0%)なので、減少していることがわかります。なお、Aは、りんごなど果樹栽培のさかんな長野県、Bは、サービス業の割合が高い神奈川県です。
- (オ) 1…2011年以降、観光客総数に増減があるにも関わらず、外国人観光客数は増加し続けていることから、観光客総数に占める外国人観光客の割合は増加傾向にあります。2…観光客総数に占める外国人観光客の割合は、 $\text{外国人観光客数} \div \text{観光客総数} \times 100$ で求めることができます。2015年は観光客総数が約9,300万人、外国人観光客数が70.8万人なので約0.8%、2016年は観光客総数が約9,000万人、外国人観光客数が86.3万人なので約1.0%、2017年は観光客総数が約8,700万人、外国人観光客数が101.3万人なので約1.2%、2018年は観光客総数が約8,700万人、外国人観光客数が120.3万人なので約1.4%で10%を上回っていません。3…観光客総数が最も多い年は2015年で約9,300万人、最も少ない年は2014年で約8,400万人なので2倍を超えていません。4…前年に比べ外国人観光客数が50%以上増加したのは、2005年(11.7万人)から2006年(18.4万人)の約57%、2006年(18.4万人)から2007年(28.1万人)の約53%、2014年(46.5万人)から2015年(70.8万人)の約52%です。また、前年に比べ50%以上減少した年はなく、最も減少したのは2010年(30.5万人)から2011年(20.3万人)の約33%です。

問3 中世までの歴史

- (ア) 各世紀は、「01」年から始まり「00」年で終わります。8世紀は、701年から800年までとなります。
- (イ) 大和政権は古墳時代にあたります。なお、Aは弥生時代の日本の様子を説明したものであり、bの『魏志』倭人伝は、その頃の日本の様子を記した中国の書物です。
- (ウ) Iは平安時代末に活躍した平清盛についての説明であり、表中の「あ」の時期にあたります。IIは1467年に始まった応仁の乱の説明であり、表中の「う」の時期にあたります。IIIは鎌倉時代初期におこった承久の乱に関する説明であり、表中の「い」の時期にあたります。
- (エ) Iは奈良時代、IIは飛鳥時代、IIIは平安時代の説明です。
- (オ) 表中の「B」にあてはまるのは鎌倉文化です。なお、1は奈良時代の天平文化、3は室町時代前半の北山文化、4は平安時代の国風文化の説明です。
- (カ) 資料Iは、「花の御所」の呼び名で知られる、室町幕府3代将軍足利義満の邸宅で、14世紀後半に京都の室町につくられました。なお、Yは、15世紀後半に京都の東山に築かれた銀閣についての説明です。また、bは13世紀初め、cは15世紀末のできごとです。
- (キ) 資料IIは、室町時代におこった正長の土一揆の様子を記したものです。なお、1は鎌倉時代末、3は奈良時代、4は平安時代の説明です。

問4 安土桃山時代から江戸時代までの歴史

- (ア) I…豊臣秀吉による検地が始まったのは1582年、II…織田信長による楽市・楽座の政策(1577年)、III…豊臣秀吉による刀狩(1588年)の説明です。
- (イ) 豊臣秀吉が2度にわたり朝鮮に大軍を送ったのは、明の征服へ向けての足がかりとするためでした。また、戦費などの重い負担に武士や民衆は苦しみ、大名の不満も高まって、豊臣政権の没落を早めました。
- (ウ) 表中の「C」は、17世紀から18世紀初頭にかけての時期であり、4の元禄文化が栄えていたころにあたります。なお、1は16世紀後半に栄えた桃山文化、2は19世紀前半に栄えた化政文化、3は18世紀後半のできごとです。
- (エ) 資料は、1837年に大阪でおこった大塩の乱(大塩平八郎の乱)に関するものであり、大塩平八郎の決意がはっきりと示されていることが読み取れます。なお、渡辺崋山は、外国船の打ち払いを批判して幕府から処罰(蛮社の獄)

を受けた人物です。

(ii) X：元禄・正徳期（約40年間）における百姓一揆の発生件数は約250件であり、1年あたりの発生件数は $250 \div 40 = \text{約}6.3$ 件です。享保・宝暦期（約50年間）における百姓一揆の発生件数は、約530件であり、1年あたりの発生件数は $530 \div 50 = \text{約}10.6$ 件なので、約3倍ではありません。Y：享保・宝暦期（約50年間）における打ちこわしの発生件数は約50件であり、1年あたりの発生件数は $50 \div 50 = \text{約}1$ 件です。天明・寛政・化政期（約60年間）における打ちこわしの発生件数は約120件であり、1年あたりの発生件数は $120 \div 60 = \text{約}2$ 件なので、約2倍です。なお、bは、表中の[E]の時期にあたります。

(※) i) 株仲間、田沼意次のころに奨励され、水野忠邦の天保の改革において解散を命じられました。

(ii) 1は1825年（表中の[D]の時期）、2は1792年（表中の[D]の時期）、3は17世紀初頭（表中の[C]の時期）のできごとです。

問5 総合問題

(ア) 日本の標準時子午線は、東経135度の経線です。時差は、経度15度につき1時間生じるため、サンフランシスコとの時差が17時間とすると、[い]にあてはまるサンフランシスコの標準時子午線は、西経120度とわかります。また、時刻は東に位置する国ほど早く進んでいるため、サンフランシスコは日本より17時間遅れていることとなります。よって、飛行機の出発日時をサンフランシスコの現地時間に直すと12月28日午前1時となり、到着時刻が同日の午前11時とすると、飛行時間は10時間であることがわかります。

(イ) 関税自主権とは、外国からの輸入品に対し独自に関税をかける権利であり、これがないと自国にとって不利であるといえます。また、領事裁判権とは、外国人が罪を犯した場合に、自国の裁判所ではなく、外国の領事が裁判をおこなうという権利であり、外国に対しこれを認めることは、自国にとって不利であるといえます。

(ウ) 世界で最初に産業革命を実現（18世紀後半）し、「世界の工場」と呼ばれたのは、イギリスです。

(エ) 日本からアメリカ合衆国への輸出額と、日本のアメリカ合衆国からの輸入額の差が大きくなればなるほど日本とアメリカ合衆国間の貿易摩擦が激しくなると考えられます。グラフの期間中においては、日本からの輸出額がアメリカ合衆国からの輸入額を上回っている状態が続いていますが、その中でも、日本の輸出額が大きく伸びた一方で、輸入額が横ばいの状態にある、1980年代中ごろの時期が、最も貿易摩擦が激しくなった時期であると考えられます。

<(ii)の正答例>

- ・（…アメリカ合衆国に対する）輸出額と輸入額に大きな差がある（からです。）（15字）
- ・（…アメリカ合衆国に対する）輸出額と輸入額の差が開いた（からです。）（13字）

<採点について>

- ① 誤字、脱字などがある場合は、その数にかかわらず1点減点となります。
- ② (i)のみが正解の場合は3点、(ii)のみが正解の場合は3点となります。